

地域資源を活かす

生活工芸双書

全9巻10分冊

B5判並製 136~152頁 カラーポート8p

写真:160枚程度

全10冊揃本体30,000円 各巻本体3,000円

巻構成と発行時期

2018年2月

桐 (きり)

3月

漆 (うるし) 1 漆搔きと漆工 ウルシ利用

5月

楮 (こうぞ)・三桿 (みつまた)

6月

苧 (からむし)

7月

萱 (かや)

12月

竹 (たけ)

2019年2月

麻 (あさ)



3月

棉 (わた)

5月

藍 (あい)

6月

漆 (うるし) 2 植物特性と最新植栽技術



双書としての基本構成

植物としての特徴（原産地・来歴・形状など）、利用の歴史（当該素材を利用した各種生活工芸品とその歴史）、栽培方法（種子・苗の入手先など）、部位別の利用法（一次加工品／各種生活工芸品の製法など）索引、参考文献一覧。

双書の特徴

- 手づくりの工芸品の人気は高く、製作体験講座も盛況。衣食住のなかの食を除いた暮らしにかかわる植物について、その特徴から栽培・利用の仕方まで1植物1冊としてまとめる。
- 実際に栽培し加工して使えるまでの実用性と、ほとんど忘れられている加工の技・利用法も詳細に解説。
- 「生活工芸品をつくりたい」という人はもちろん栽培農家や工芸職人が後継者に残す基本・手引き書としても貴重。地域資源を通してそれを利用した、地域と人間のくらしづくりも伝わってくる。農家にとっては副収入にもいかせる。
- 全9巻10分冊は暮らしにかかわる衣料、和紙、食器、ロウソク原料、家具、下駄、屋根材、土壁材、日よけなど。

注文書

生活工芸双書 漆 (うるし)

冊

978-4-540-17116-1

各●3000円+税

※直送の場合は何冊でも1回につき送料400円

桐 () 冊

楮・三桿 () 冊

苧 () 冊

萱 () 冊

竹 () 冊

麻 () 冊

棉 () 冊

藍 () 冊

漆2 () 冊

●あるくみるきく双書 宮本常一とあるいた昭和の日本

漆・柿渋と木工

冊

978-4-540-10223-3

●2800円+税

氏名(団体名)

ご住所(〒)

(ご担当者様)

TEL

FAX

E-mail

農文協

一般社団法人
〒107-8668

農山漁村文化協会

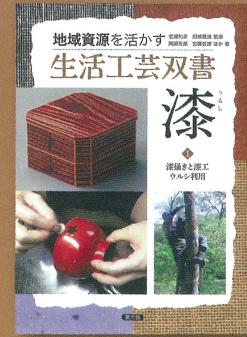
http://www.ruralnet.or.jp/
東京都港区赤坂7-6-1 TEL. 03-3585-1142 FAX. 03-3585-3668

地域資源を活かす 生活工芸双書

漆 (うるし) 1

漆搔きと漆工 ウルシ利用

田端雅進、室瀬和美監修



植物としての特徴、ほとんど今の技法とかわらない縄文時代の漆利用のおどろくべき実態、漆器、蒔絵等の漆工芸の各種技法、輪島塗、飛騨春慶塗、津軽塗、讃岐塗など漆産地の歴史と特色、漆液の採取（漆搔き）と精製（ナヤシ、クロメ）。漆液以外の利用では、ウルシ染め、漆蠍のとり出し方、うるし蜂蜜やコーヒーなど食利用も紹介。また、ナノ漆、ハイブリット漆等漆の未来にも迫る。

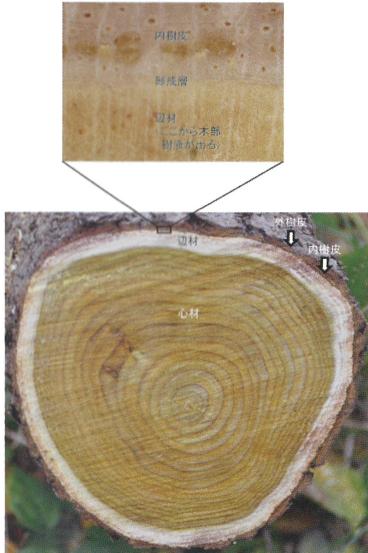
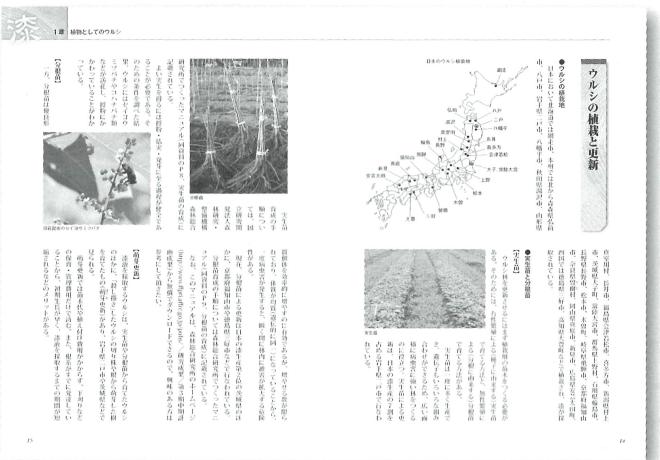
●執筆者

田端雅進（森林総研東北支所）阿部芳郎（明治大）室瀬和美（重要無形文化財（蒔絵）保持者）永田智世（日白漆芸文化財研究所）近藤都代子（元文化庁）住谷晃一郎（香川県学芸員）宮腰哲雄（明治大）橋田光（森林総研）高田和徳（岩手県一戸町御所野縄文博物館）姉帯敏美（岩手県二戸市浄法寺総合支所）竹内義浩（竹内工芸研究所）

B5判 152頁 カラーポートレート8P（写真約160枚）

●3000円+税

販賣本



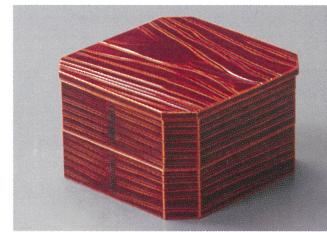
ウルシ幹の横断面



浄法寺町のウルシから採取された漆



津軽塗 彩色、研ぎ出し風景



飛騨春慶塗 重箱 批目



輪島塗 菊花沈金棗

漆 (うるし) 2 植物特性と最新植栽技術 は2019年6月刊行予定

あるくみるきく双書 宮本常一とあるいた昭和の日本 漆・柿渋と木工

田村善次郎／宮本千晴・監修●2800円+税

●うるし風土記 阿波半田一消えた漆器産地を訪ねて 姫田道子
久雄●漆器入門 澤口滋 竹内
ンガラ、漆塗り 須藤護 ●塗かき見聞記 姫田道子●うるしの仕事 澤口滋●柿渋とベ
●越前漆器を訪ねる 須藤護 ●漆刷毛の製作 近山雅人 他

